学校教育目標　「心は一つ八景小！ 自分らしさを発揮し、認め合い、思い合い豊かに生きることができるようにします」

9月 学校だより

令和5年8月31日
横浜市立八景小学校
校 長 中川 琴似

https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hakkei/

それぞれの夏

児童支援専任　藤本　由佳

学校に、にぎやかな子どもたちの声が帰ってきました。夏休みの 38 日間どのように過ごしたでしょうか。地球温暖化よりも上、地球沸騰化ともニュースになる程、暑い、暑い夏でした。

ある夏休みの一日、家族と涼を求めてプールに出かけた時のことです。私は、プールサイドで日陰を見つけて、にぎやかなプールを眺めていました。ふと、近くにいた高学年くらいの子どもたちの会話が耳に入りました。

「日焼けしていて、かっこいいな。」
という声掛けに、苦い顔をした子がいました。続けて
「僕は焼けすぎちゃっているから、今は日焼け止めを塗っているんだ。」
と、答える子。
「そうだったんだ。ごめんね。」
そんなやり取りを聞きました。その会話を聞いて、はっとしました。私も日焼けをした姿を見たら、同じような声をかけるかもしれないなと。けれど、感じ方は人それぞれ、違う気持ちがあるのだと改めて思いました。何気ない会話でしたが、２人の子どもたちがそれぞれの気持ちを伝え合え、分かりあえてよかったとも感じたひとときでした。

最近「ダイバーシティ（多様性）」という言葉をよく耳にするようになりました。その意味を調べると「ある集団のなかで年齢、性別、人種、経験、趣味嗜好などが異なる人が存在している状態において、その個性が認められる」とありました。

一人一人がありのままで認められる。そう意識しているつもりでしたが、この夏の一日は、自分の経験や価値にとらわれているなと気づかされました。意識しないうちに、自身の独りよがりの思いに、偏っているのかもしれないと振り返ったり、また、そんな思いの違いを語り合ったりできる関係が大切で、そのような環境を子どもたちの身近に整えていくのが子どもを支える大人に求められていると思います。

学校を離れて過ごした夏休み。一人一人様々な日を送って色々な気持ちを抱えて学校に戻ってきていると思います。それぞれの経験にゆったり耳を傾けて、思いを大切に受け止めていきたいと思います。

はじめは徐々に学校生活にペースを戻し、9 月後半からは運動会に向けて動きだします。自分らしさを発揮し、互いに違いを認め合えるように、子どもたちの成長をご家庭と地域の皆さんと共に支えていきたいと思います。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。